

植物標本を作ろう

勝山市小学校理科部会

夏休みに実施している「市小学校自然観察会」に講師として来ていただいている、桜井知栄子様が観察会で配布している資料を基に作成しました。

1 植物採集に出かける前に、これだけは準備しましょう。

- 採集袋・・・大きいビニール袋（黒色以外の色がついたもので丈夫なもの）、小さいビニール袋
- 野冊・・・ダンボール板またはベニヤ板2枚（新聞1ページの1/2の大きさ）
しばるひも（ビニールロープなど）、古新聞紙（できるだけたくさん用意）
- 筆記用具・・・メモ帳、油性マジック、ボールペンなど
- 採集用具・・・せん定ばさみ、根ほり（シャベル）
- その他・・・小さい荷札や紙テープなど

2 採集のしかた

- 背の低い植物（花または実、葉、茎全体が台紙に入る大きさ）
小さい植物は、2～3本を根から採集し、土を落として小袋に入れておくとよい。
- 背の高い植物
特徴（とくちょう）がわかるように、花、実、葉、茎などが台紙に入る大きさに切り取る。長い場合はおりまげて（V字型・N字型）標本にする。
- シダ植物
茎の付け根付近にうろこ状の鱗片がついているので、地面の生え際から全体を採集する。孢子葉と栄養葉がある場合は両方採る。葉の裏に胞子が付いているものを採る（胞子のうと鱗片はシダの特徴を表す大事な部分）。



3 取ってはいけない危険な植物（触ってもいけません）

ツタウルシ



ヤマウルシ や ヌルデ



4 取ってきた植物を新聞紙にはさむ

(1) 台紙に入る大きさに切りそろえる。

- ・葉の裏にも特徴があるので、1～2枚は裏返しにするとよい。
- ・花または種のついているものが望ましい。
(きちんとした標本には必ず必要)

(2) 形を整えるために

- ・小さな紙をはさむことで、上から新聞紙をかけたときに植物の形がくずれにくくなる。
- ・植物をはさんだ新聞紙の表には、採集年月日・採集地・植物名をマジックで書く。



(3) 乾燥の方法

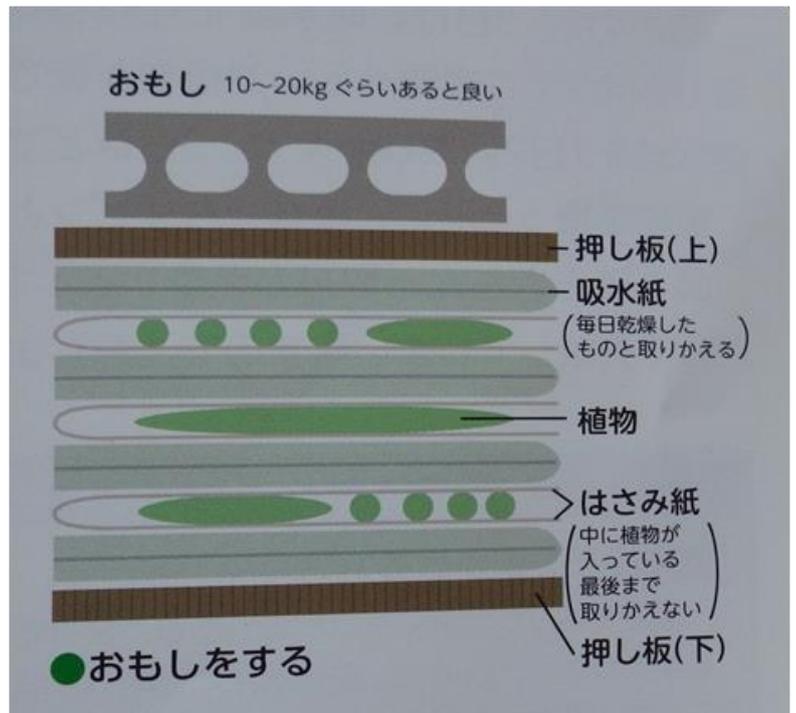
【注意】

乾燥が終わるまで、毎日 吸水紙を取りかえる。これをしないと、うまく乾かなくなるだけではなく、カビが生えたり、色が悪くなる原因になる。

はさみ紙は最後まで交換しない。

【乾燥の目安】

手で茎の端を持って、ピント立てば、乾燥作業は終了。



(4) きれいな標本を作るポイント

乾燥を始めて3時間くらいたったら、吸水紙を取りかえる。そのとき、葉や花のいわのばしをしたり、植物の形を整えたりする。花や実は、葉にかくれないようにする。

(5) 台紙にはる

【準備物】台紙 (A3の大きさに白色ケント紙など)
紙製粘着テープ、合成のり、はさみ
筆記用具、ラベル (A6以内の大きさ)

【はり方】

- ・葉や茎の大きさや太さに合わせてテープの巾を選び、余分なテープは切りとる。
- ・台紙にバランスよく、はりつける。
- ・乾燥している途中で取れてしまったタネや花は別の紙に包んで、同じ台紙にはり、保存する。

【ラベルの書き方】

科名	バラ科
和名	ヤマブキ
採集地	勝山市遅羽町 三室山
標高	
採集日	2020年4月16日
採集者	三室 花子
備考	黄色い花がたくさんさいていた

